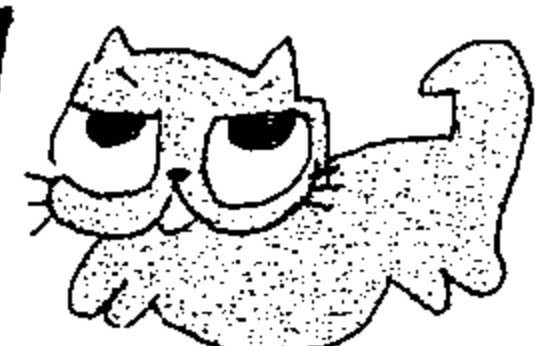




鉄！この部屋！！



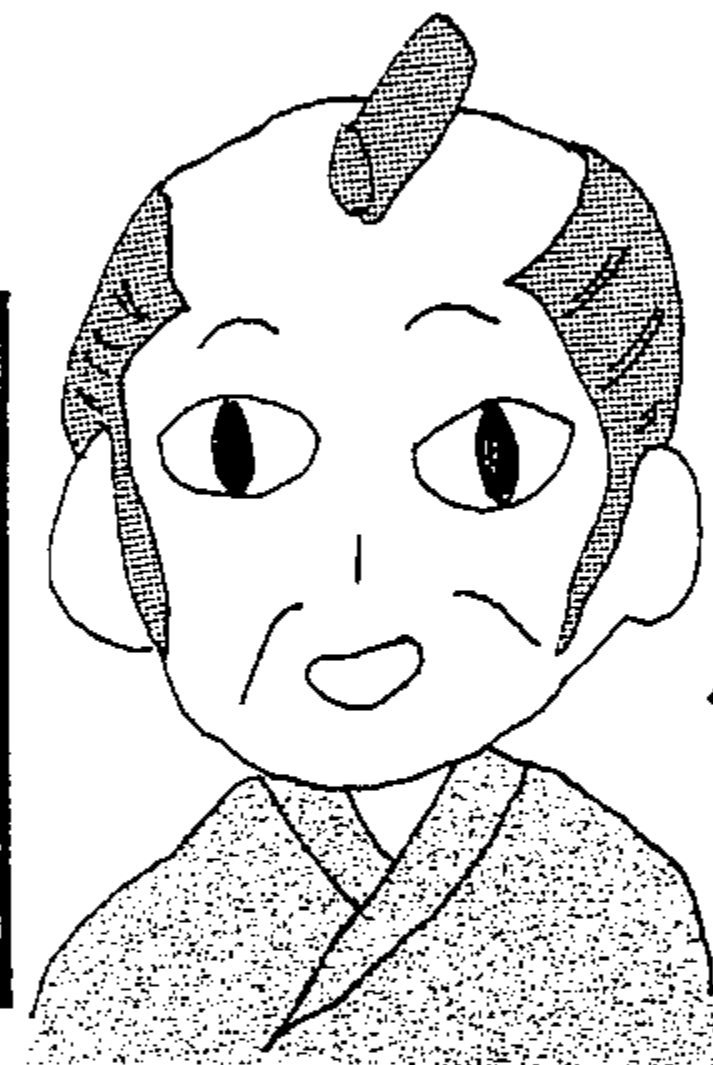
H17.1.10
#2号

たたら製鉄とは・・・

田儀櫻井家たたら製鉄遺跡 NEWS

たたら製鉄とは、土で焼いた火炉(たたら)の中で、炭(木炭)を燃料とし、石鉄(石鉄)を溶かして鉄を作る日本で古くから行われた製鉄方法じゃ。中国地方では、6世紀～20世紀にかけて盛んにたたら製鉄が行われ、特に出雲と石見は江戸時代後半～明治時代にかけて、**全国一**の鉄生産量を誇ったのじゃ。この背景には鉄の原料となる石鉄や、木炭を供給する森林資源が豊富であったことがあげられるのじゃ。

高石衛門



高殿とは・・・

押立柱とよばれる

4本の柱に変えられた

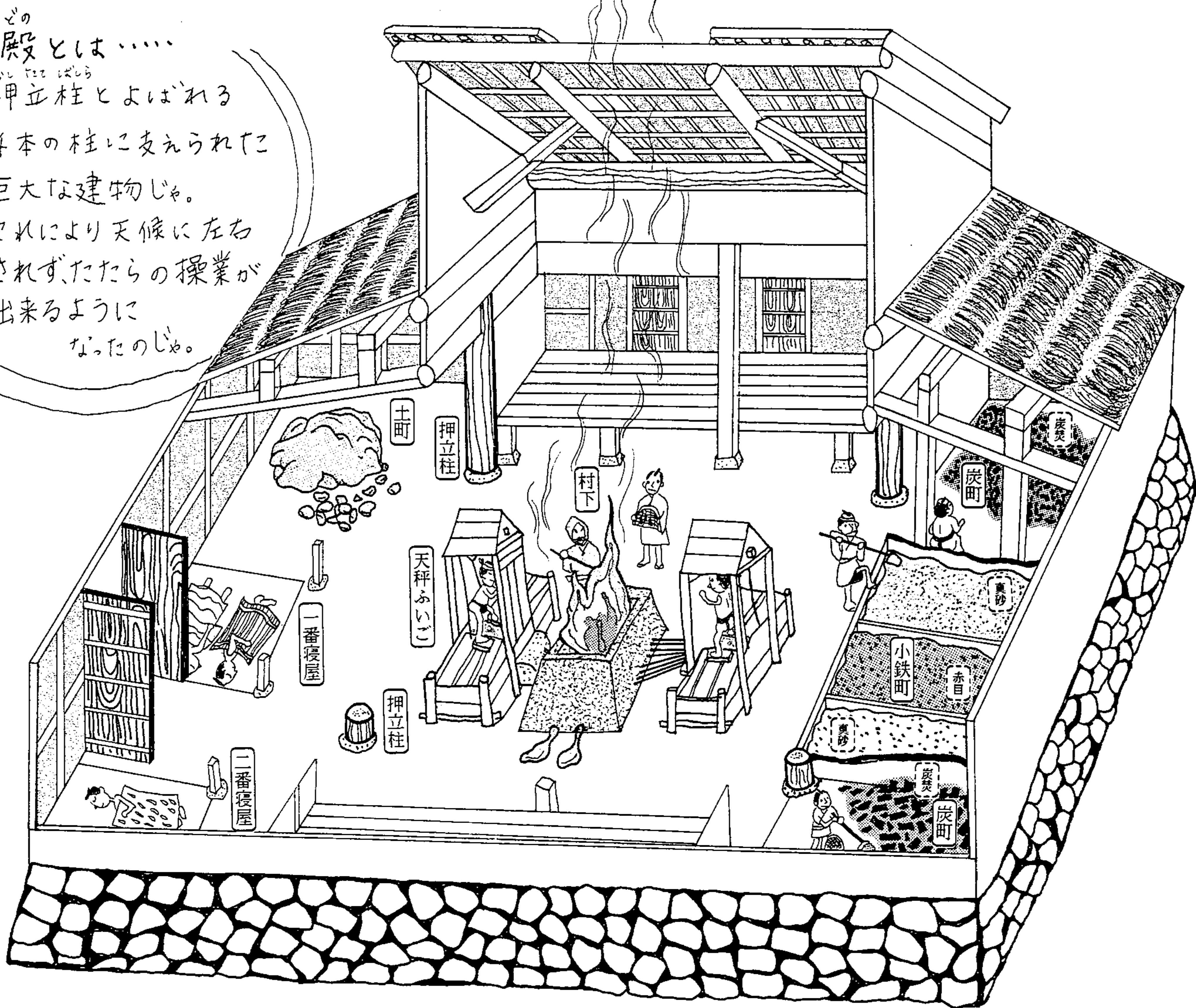
巨大な建物じゃ。

これにより天候に左右

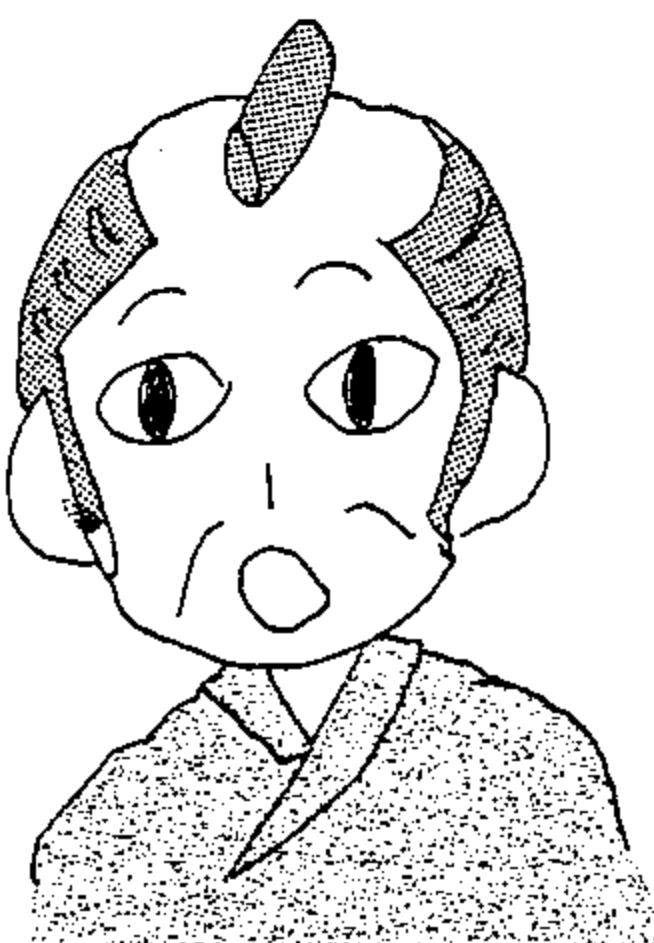
されずたたら製鉄が

出来るように

なったのじゃ。



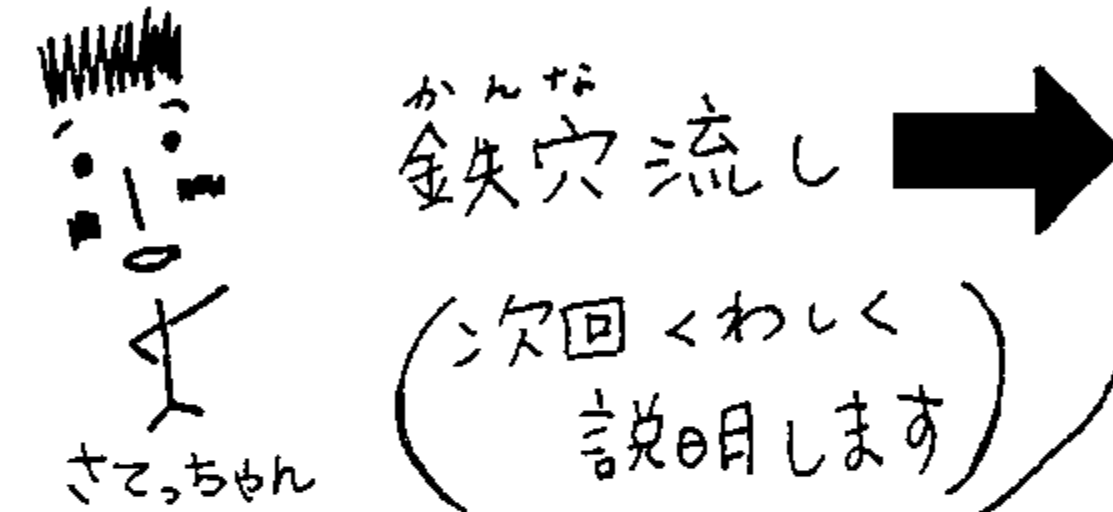
高殿内部には、製鉄火炉が中央にすえられ、左右に、天秤ふいごと言われる送風機。周囲には小鉄町(石鉄置場)炭町(木炭置場)、土町(粘土置場)などの原料置場、村下座、炭坂座、番子部屋など従業員の休憩場があったのじゃー。



たたら製鉄の流れ

(矢印をたどってね。)

石鉄採取
鉄の原料となる石鉄を採取します。



製鉄(たたら)
製鉄火炉に燃料の木炭と石鉄を入れ溶かして鉄を作る。



精錬金段治(大段治)
加熱した鉄をたたき金段え鉄素材を作る。



炭焼き(木炭作り)

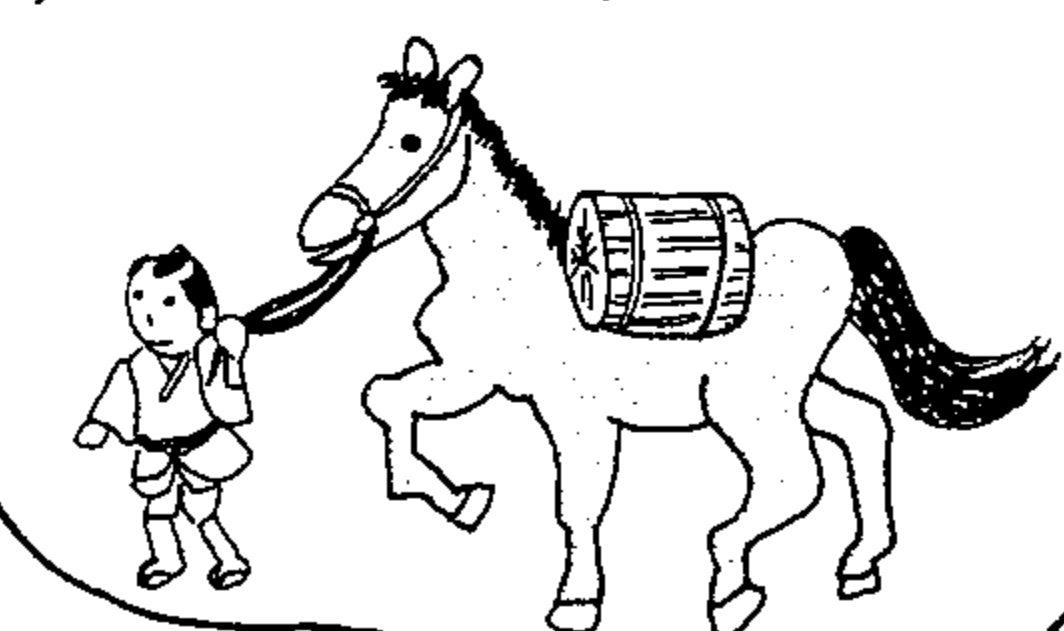
たたら製鉄には、強い火が必要のため、山から大量の木を切って、木炭を作る。



豆知識

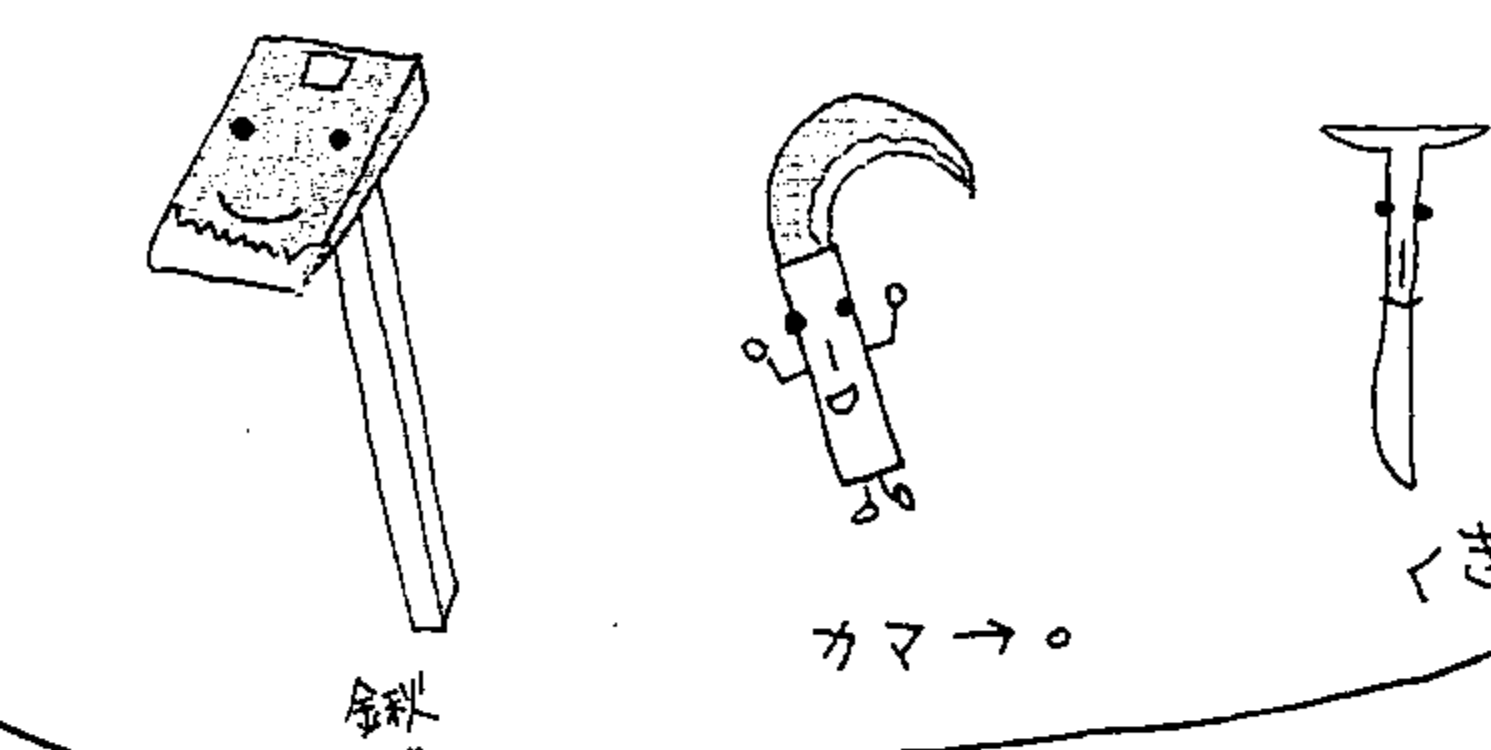
「小鉄七里に炭三里」

重たいか、かさばらない石鉄は、七里(約28キロ)離れた場所から運んでも採算があうか、軽いがかさばる炭は三里(約12キロ)以内でないと採算があわないという意味じゃ。

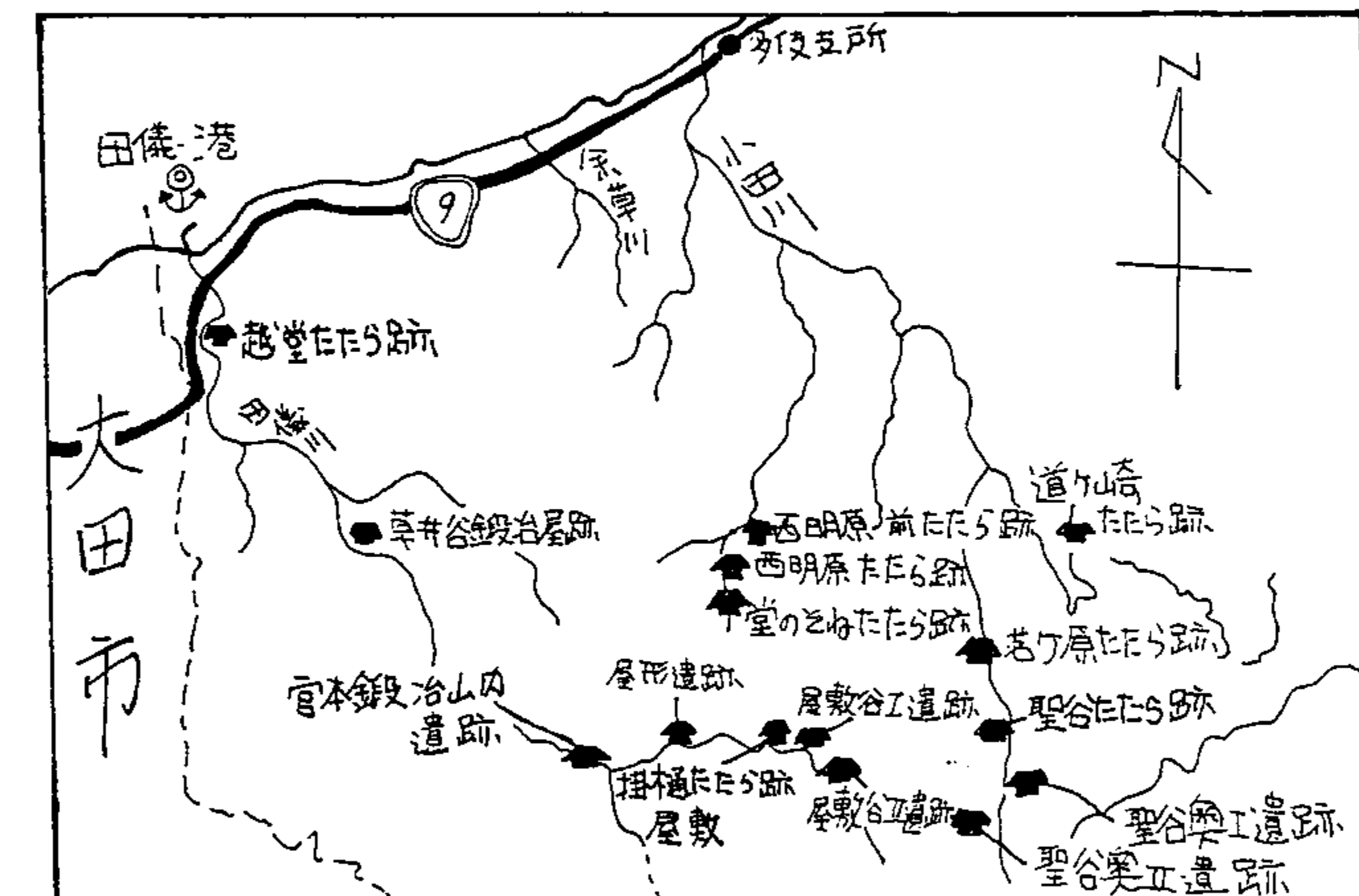
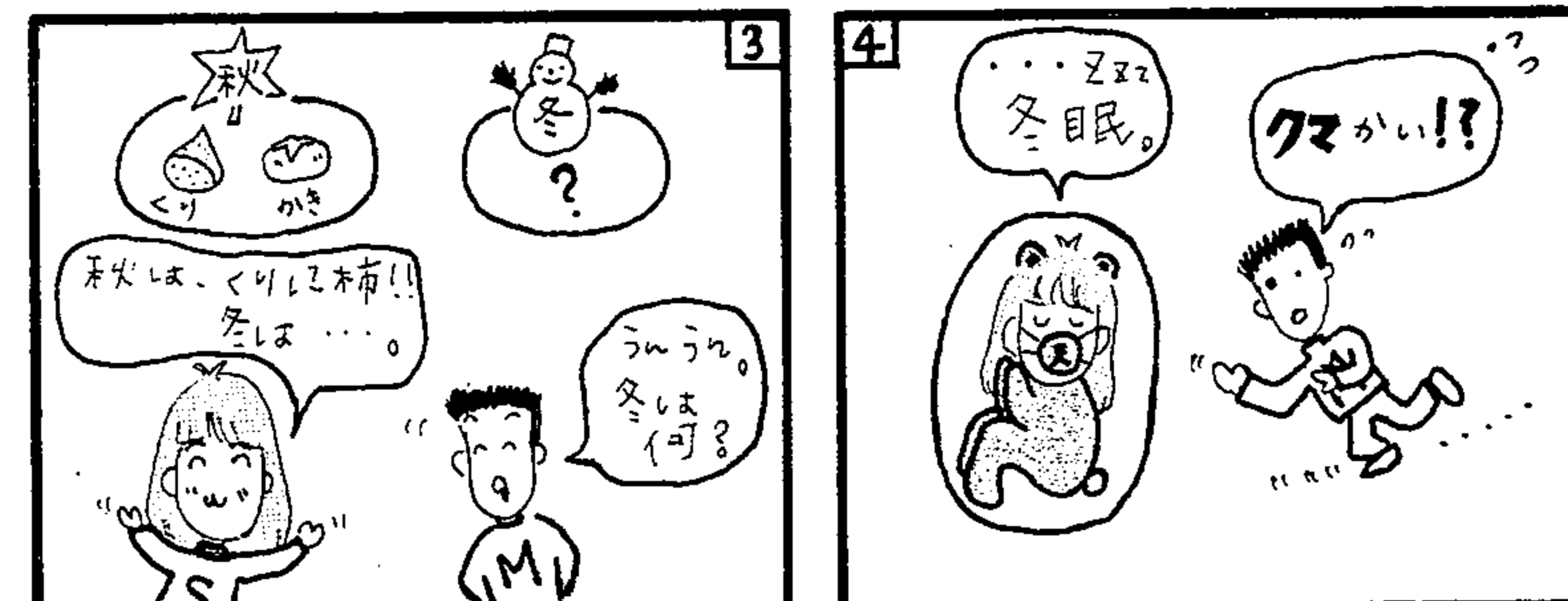
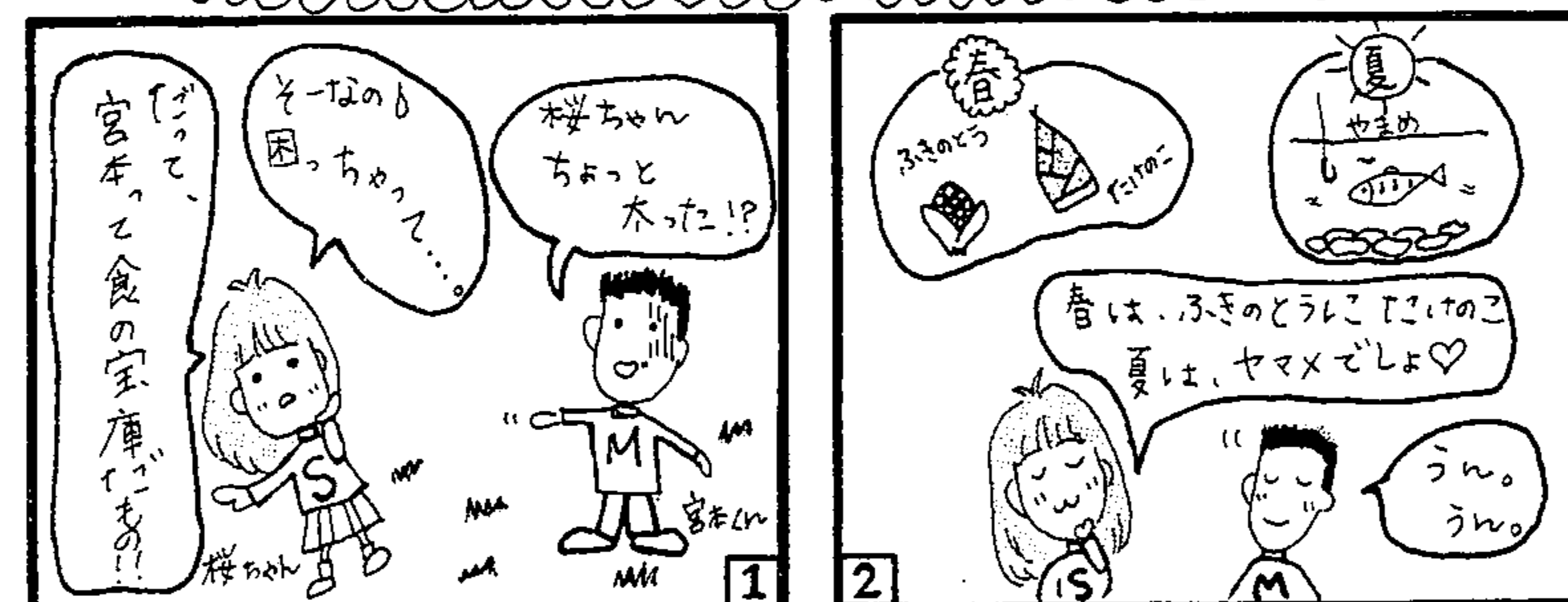


金段鍛冶(製品を作る)

鉄素材を加熱し、たたいて道具を作る。



4コマ劇場 この発掘やろう!! in 宮本



～お問い合わせ～
出雲市役所文化財課

Tel 0853-21-6893

次回予告
石鉄の採取方法 THE 鉄穴流し